

令和7年千葉県地価調査に基づく地価動向について

用地課土地取引調査室

Tel 043-223-3250

第1 地価調査制度の概要

1 地価調査の目的

地価調査は、国土利用計画法施行令第9条の規定により、都道府県知事が毎年1回基準地の標準価格を調査し、その結果を公表するものである。

この調査は、国が行う地価公示〔地価公示法第2条の規定により毎年1回（1月1日時点）基準地の正常な価格を調査し公示〕と併せて、一般の土地取引価格に対して指標を与えるとともに、公共事業用地の取得価格算定の基準とされ、また、国土利用計画法に基づく土地取引の規制における土地価格算定の基準とされる等、適正な地価の形成に寄与することを目的としている。

2 調査対象区域・調査地点

調査対象区域は県内59市区町村の全域で、調査地点数は、合計893地点である。

◎ 令和7年地価調査 基準地数

区 分	住宅地	商業地	工業地	林地	合 計
継 続 地 点 数	697	134	33	10	874
新 設 地 点 数	4	4	1	0	9
選 定 替 地 点 数	6	3	0	1	10
計	707	141	34	11	893

3 地価調査価格の性格

地価調査価格は、基準地の1平方メートル当たり（林地は10アール当たり）の標準価格である。

標準価格とは、売り手・買い手双方に売り急ぎ、買い進み等の特殊な事情がない取引で成立すると認められる価格であり、いわゆる売り手にも買い手にも偏らない客観的な価格を表したものである。

また、地価調査価格は、建物や、使用・収益を制限する権利がない、つまり土地のみ（更地）の価格である。

4 基準日及び公表日

基準日：令和7年7月 1日

公表日：令和7年9月17日

第2 地価調査の結果概要

1 全般的な動向

- (1) 千葉県令和6年7月以降の1年間の地価は、対前年平均変動率（以下「平均変動率」という。）が、全用途平均・住宅地・商業地・工業地の全てで上昇し、商業地・工業地では昨年より上昇幅が縮小しました。

（全用途平均 R7年：3.7% R6年：3.7% R5年：2.8%）

- ・住宅地は、平成30年以降、上昇していたが、令和2年になって下落に転じ、令和3年は横ばい、令和4年から再び上昇に転じ、本年も上昇している。
- ・商業地は、平成21年以降、下落していたが、26年になって上昇に転じ、本年も上昇している。
- ・工業地は、平成21年以降、下落していたが、25年になって上昇に転じ、本年も上昇している。

ア 全用途平均

全用途平均の平均変動率は、3.7%と、昨年の3.7%から上昇が継続した。県内の調査対象59市区町村の平均変動率は、上昇が35市区町（昨年34市区町）、横ばいは1町（昨年1市）、下落が23市町村（昨年24市町村）となっている。このうち、最も上昇率が大きいのは、流山市の12.1%（昨年10.3%）となっている。

イ 住宅地

住宅地の平均変動率は、3.3%と、昨年の3.2%から上昇した。県内の調査対象59市区町村の平均変動率は、上昇が32市区町（昨年33市区町）、横ばいが2市町（昨年0）、下落が25市町村（昨年26市町村）となっている。このうち、最も上昇率が大きいのは、流山市の12.5%（昨年10.6%）となっている。

ウ 商業地

商業地の平均変動率は、4.8%と、昨年の5.0%から上昇幅が縮小した。県内の調査対象51市区町の平均変動率は、上昇が34市区町（昨年33市区町）、横ばいが6市町（昨年7市町）、下落が11市町（昨年12市町）となっている。このうち、最も上昇率が大きいのは、船橋市の9.5%（昨年11.6%）となっている。

※富里市は本年、選定替を行ったため平均変動率が出ていない。

（富里市の商業地の地点は1地点のみ。富里市を含めた調査対象：52市区町）

エ 工業地

工業地の平均変動率は、8.2%と、昨年の9.9%から上昇幅が縮小した。県内の調査対象25市区町の平均変動率は、上昇が22市区町(昨年19市区町)、横ばいが3市(昨年4市)、下落が0(昨年0)となっている。最も上昇率が高いのは、習志野市の16.7%(昨年27.1%)となっている。
 ※千葉市緑区は本年、新規基準地を設定したため平均変動率が出ていない。
 (千葉市緑区を含めた調査対象：26市区町)

オ 林地

林地の平均変動率は、△0.7%と、昨年の△0.7%から下落が継続した。上昇・横ばいはなく、下落が10市(昨年11市町)となっている。
 ※長南町は本年、選定替を行ったため平均変動率が出ていない。

◎ 用途別対前年平均変動率 (単位：%)

年 \ 用途	住宅地	商業地	工業地	全用途平均
令和7年	3.3	4.8	8.2	3.7
令和6年	3.2	5.0	9.9	3.7
令和5年	2.5	3.7	7.1	2.8

※継続地点の基準地ごとの対前年変動率の和を当該基準地数で除したもの(林地を除く。)

◎ 用途別平均価格 (単位：円/m²)

年 \ 用途	住宅地	商業地	工業地	全用途平均
令和7年	94,900	333,700	97,900	133,200
令和6年	89,000	309,000	90,700	123,600
令和5年	83,200	284,900	78,000	114,500

※基準地ごとの価格の和を当該基準地数で除したもの(林地を除く。)

- (2) 県全域の継続調査地点（林地を除く。以下同じ。）864地点の内、592地点が上昇となり、114地点が横ばい、158地点で下落した。

地域別で見ると、上昇地点が「東京圏」では553地点、「地方圏」では39地点となっている。

【令和7年地価調査】

東京圏：上昇553地点、横ばい 39地点、下落 28地点
 地方圏：上昇 39地点、横ばい 75地点、下落130地点
 県全体：上昇592地点、横ばい114地点、下落158地点

◎【東京圏・地方圏】

○ 東京圏：30市区町

千葉市中央区、千葉市花見川区、千葉市稲毛区、千葉市若葉区、千葉市緑区、千葉市美浜区、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、成田市、佐倉市、習志野市、柏市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町

○ 地方圏：29市町村

銚子市、館山市、茂原市、東金市、旭市、勝浦市、鴨川市、八街市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、大網白里市、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町

◎ 地価公示と地価調査の同一地点の状況（対半年比）

地価公示（基準日：1月1日）と地価調査（基準日：7月1日）の同一地点は、住宅地60地点、商業地13地点、工業地4地点の計77地点である。

(1) 住宅地

住宅地の同一地点は、半年前に比べて上昇、横ばい、下落地点数の変動はなかった。

【住宅地】

	地価調査 (R5.7.1)	地価公示 (R6.1.1)	地価調査 (R6.7.1)	地価公示 (R7.1.1)	地価調査 (R7.7.1)
上昇地点数	57	57	58	58	58
横ばい地点数	3	1	2	2	2
下落地点数	0	1	0	0	0
合計	60	59	60	60	60

(2) 商業地

商業地の同一地点は、半年前に比べて上昇、横ばい、下落地点数の変動はなかった。

【商業地】

	地価調査 (R5.7.1)	地価公示 (R6.1.1)	地価調査 (R6.7.1)	地価公示 (R7.1.1)	地価調査 (R7.7.1)
上昇地点数	13	13	13	13	13
横ばい地点数	0	0	0	0	0
下落地点数	0	0	0	0	0
合計	13	13	13	13	13

【77地点の市：東京圏のみ】

住宅地 60地点

千葉市(11)、市川市(5)、船橋市(6)、木更津市(2)、松戸市(5)、野田市(2)、成田市(2)、佐倉市(2)、習志野市(1)、柏市(5)、市原市(3)、流山市(2)、八千代市(2)、我孫子市(3)、鎌ヶ谷市(1)、君津市(1)、富津市(1)、浦安市(2)、四街道市(1)、袖ヶ浦市(1)、印西市(1)、白井市(1)

商業地 13地点

千葉市(5)、市川市(1)、船橋市(2)、木更津市(1)、松戸市(1)、柏市(1)、浦安市(1)、印西市(1)

工業地 4地点

千葉市(1)、野田市(1)、習志野市(1)、柏市(1)

2 住宅地及び商業地の地域別動向

(1) 住宅地

ア 東京圏〔30市区町〕

- ① 東京圏の住宅地の平均変動率は、4.8%と昨年の4.6%から上昇した。28市区町が上昇、横ばいは1町、1市が下落した。このうち、最高上昇率は流山市の12.5%である。

(R6 : 4.6%、R5 : 3.7%、R4 : 1.6%、R3 : 0.3%)

区分	市区町村 (対前年変動率%)
上昇継続	流山市(12.5)、松戸市(8.1)、白井市(6.9)、鎌ヶ谷市(6.6)、千葉市中央区(6.4)、千葉市美浜区(6.2)、千葉市若葉区(5.8)、袖ヶ浦市(5.7)、成田市(5.5)、四街道市(5.3)、船橋市(5.3)、柏市(5.2)、千葉市緑区(5.1)、富里市(4.9)、浦安市(4.8)、我孫子市(4.7)、習志野市(4.5)、千葉市稲毛区(4.5)、千葉市花見川区(3.9)、市川市(3.9)、印西市(3.6)、市原市(3.3)、木更津市(3.0)、八千代市(2.5)、佐倉市(2.3)、野田市(1.8)、酒々井町(1.6)、君津市(1.1)
上昇から横ばい	栄町(0.0)
下落継続	富津市(△0.4)

- ② 継続調査地点498地点のうち、436地点で上昇、38地点で横ばい、24地点で下落となっている。

イ 地方圏〔29市町村〕

- ① 地方圏の住宅地の平均変動率は、△0.4%と昨年の△0.5%から下落が継続した。4市町が上昇、横ばいは1市、24市町村が下落した。このうち最高上昇率は、一宮町の2.4%である。

(R6 : △0.5%、R5 : △0.5%、R4 : △0.5%、R3年 : △0.7%)

区分	市区町村 (対前年変動率%)
上昇継続	一宮町(2.4)、大網白里市(0.8)、東金市(0.6)、茂原市(0.4)
下落から横ばい	館山市(0.0)
下落継続	鴨川市(△0.1)、八街市(△0.2)、芝山町(△0.2)、横芝光町(△0.3)、山武市(△0.3)、旭市(△0.4)、鋸南町(△0.4)、南房総市(△0.5)、匝瑳市(△0.5)、大多喜町(△0.6)、香取市(△0.6)、いすみ市(△0.6)、神崎町(△0.7)、多古町(△0.7)、睦沢町(△0.7)、勝浦市(△0.7)、長生村(△0.8)、長南町(△0.8)、白子町(△0.9)、御宿町(△1.0)、九十九里町(△1.0)、長柄町(△1.0)、東庄町(△1.1)、銚子市(△3.1)

- ② 継続調査地点199地点のうち、23地点で上昇、61地点で横ばい、115地点で下落となっている。

(2) 商業地

ア 東京圏〔29市区町〕

- ① 東京圏の商業地の平均変動率は、6.5%と昨年の6.8%から上昇が継続した。27市区町が上昇、1町が横ばい、1市が下落した。このうち最高上昇率は船橋市の9.5%である。

(R6: 6.8%、R5年: 5.2%、R4年: 2.8%、R3年: 0.7%)

区分	市区町村 (対前年変動率%)
上昇継続	船橋市(9.5)、流山市(8.6)、千葉市中央区(8.4)、鎌ヶ谷市(8.1)、習志野市(8.1)、成田市(7.6)、千葉市稲毛区(7.4)、市川市(7.2)、松戸市(7.2)、袖ヶ浦市(6.8)、千葉市花見川区(6.8)、八千代市(6.4)、柏市(6.3)、浦安市(6.3)、千葉市美浜区(6.1)、市原市(5.9)、千葉市若葉区(5.7)、佐倉市(5.4)、千葉市緑区(4.9)、四街道市(4.6)、木更津市(3.6)、我孫子市(3.6)、酒々井町(1.8)、野田市(1.5)、白井市(1.5)、印西市(1.3)、君津市(1.0)
横ばい継続	栄町(0.0)
下落継続	富津市(△0.6)

※富里市は本年、選定替を行ったため平均変動率が出ていない。

- ② 継続調査地点98地点のうち、93地点で上昇、1地点で横ばい、4地点で下落となっている。

イ 地方圏〔22市町〕

- ① 地方圏の商業地の平均変動率は、0.1%と昨年の0.0%から上昇に転じた。7市町が上昇、5市町が横ばい、10市町が下落した。このうち最高上昇率は一宮町の6.0%である。

(R6: 0.0%、R5: △0.1%、R4年: △0.2%、R3年: △0.3%)

区分	市区町村 (対前年変動率%)
上昇継続	一宮町(6.0)、大網白里市(3.9)、東金市(3.2)、館山市(0.5)、香取市(0.4)
横ばいから上昇	鴨川市(0.2)、茂原市(0.1)
横ばい継続	匝瑳市(0.0)、鋸南町(0.0)
下落から横ばい	旭市(0.0)、八街市(0.0)、山武市(0.0)
横ばいから下落	多古町(△0.5)、東庄町(△0.6)、
下落継続	御宿町(△0.4)、南房総市(△0.5)、神崎町(△0.7)、大多喜町(△0.7)、勝浦市(△1.0)、横芝光町(△1.4)、いすみ市(△1.9)、銚子市(△2.1)

- ② 継続調査地点36地点のうち、10地点で上昇、11地点で横ばい、15地点で下落となっている。

3 用途別の動向

(1) 全用途平均

ア 変動率等

- ① 全用途平均の県平均変動率は、3.7%と上昇した。
(R6 : 3.7%、R5年 : 2.8%、R4年 : 1.2%、R3年 : 0.2%)
- ② 調査対象59市区町村の平均変動率は、流山市、松戸市、千葉市美浜区、千葉市中央区、鎌ヶ谷市、袖ヶ浦市、船橋市、白井市、成田市、千葉市若葉区、習志野市、柏市、浦安市、四街道市、千葉市稲毛区、千葉市緑区、富里市、我孫子市、市川市、千葉市花見川区、市原市、印西市、木更津市、一宮町、八千代市、佐倉市、野田市、酒々井町、大網白里市、東金市、君津市、芝山町、茂原市、横芝光町、館山市の35市区町で上昇し、栄町の1町で横ばい、その他の23市町村で下落した。
- ③ 市区町村別の平均変動率順位 (上位)
- | | | |
|-----|--------|-------|
| 第1位 | 流山市 | 12.1% |
| 第2位 | 松戸市 | 8.3% |
| 第3位 | 千葉市美浜区 | 8.0% |
- (R6年 : 市川市 10.7%、流山市 10.3%、浦安市 10.0%)
- 市区町村別の平均変動率順位 (下位)
- | | | |
|-----|-------|-------|
| 第1位 | 銚子市 | △2.8% |
| 第2位 | 長柄町 | △1.0% |
| 第3位 | 九十九里町 | △1.0% |
- (R6年 : 銚子市 △2.4%、勝浦市 △1.0%、長柄町 △1.0%)
- ④ 継続調査地点864地点のうち、592地点で上昇、114地点で横ばい、158地点で下落した。
(R6年 : 856地点のうち573地点で上昇、112地点で横ばい、171地点で下落)

イ 価格

- ① 全用途平均の県平均価格は133,200円/㎡、昨年より9,600円上昇した。
(R6年 : 123,600円/㎡で、一昨年より9,100円上昇)
- ② 市区町村別の平均価格順位
- | | | |
|-----|--------|------------|
| 第1位 | 市川市 | 495,400円/㎡ |
| 第2位 | 浦安市 | 495,100円/㎡ |
| 第3位 | 千葉市中央区 | 301,900円/㎡ |
- (R6年 : 市川市 472,700円/㎡、浦安市 470,000円/㎡、千葉市中央区 278,000円/㎡)

(2) 住宅地

ア 変動率等

- ① 住宅地の県平均変動率は、3.3%と上昇した。
(R6年：3.2%、R5年：2.5%、R4年：1.0%、R3年：0.0%)
- ② 調査対象59市区町村の平均変動率は、流山市、松戸市、白井市、鎌ヶ谷市、千葉市中央区、千葉市美浜区、千葉市若葉区、袖ヶ浦市、成田市、四街道市、船橋市、柏市、千葉市緑区、富里市、浦安市、我孫子市、習志野市、千葉市稲毛区、千葉市花見川区、市川市、印西市、市原市、木更津市、八千代市、一宮町、佐倉市、野田市、酒々井町、君津市、大網白里市、東金市、茂原市の32市区町で上昇し、館山市、栄町の2市町で横ばい、その他の25市町村で下落した。
- ③ 市区町村別の平均変動率順位（上位）
- | | | |
|-----|-----|-------|
| 第1位 | 流山市 | 12.5% |
| 第2位 | 松戸市 | 8.1% |
| 第3位 | 白井市 | 6.9% |
- (R6年：流山市 10.6%、市川市 9.2%、浦安市 8.9%)
- 市区町村別の平均変動率順位（下位）
- | | | |
|-----|-----|-------|
| 第1位 | 銚子市 | △3.1% |
| 第2位 | 東庄町 | △1.1% |
| 第3位 | 長柄町 | △1.0% |
- (R6年：銚子市 △2.7%、勝浦市 △1.0%、長柄町 △1.0%)
- ④ 継続調査地点697地点のうち459地点で上昇、99地点で横ばい、139地点で下落した。
(R6年：693地点のうち447地点で上昇、94地点で横ばい、152地点で下落)
- ⑤ 基準地別変動率順位（上位）
- | | | |
|-----|-------------------|-------|
| 第1位 | 流山-4（東初石3丁目） | 17.9% |
| 第2位 | 流山-17（おおたかの森南1丁目） | 15.9% |
| 第3位 | 流山-10（おおたかの森西1丁目） | 15.9% |
- (R6年：「流山-17」15.9%、「流山-10」15.7%、「市川-7」14.6%)
- 基準地別変動率順位（下位）
- | | | |
|-----|------------|-------|
| 第1位 | 銚子-1（犬吠埼） | △3.7% |
| 第2位 | 銚子-7（愛宕町） | △3.4% |
| 第3位 | 銚子-2（小畑新町） | △3.3% |
- (R6年：「銚子-1」△3.2%、「銚子-7」△3.0%、「銚子-4」△2.9%)

イ 価格

- ① 住宅地の県平均価格は 94,900 円/㎡、昨年より 5,900 円上昇した。
(R6 年 : 89,000 円/㎡で、一昨年より 5,800 円上昇)
- ② 市区町村別の平均価格順位
- | | | |
|-------|-----|-------------|
| 第 1 位 | 浦安市 | 396,800 円/㎡ |
| 第 2 位 | 市川市 | 307,900 円/㎡ |
| 第 3 位 | 流山市 | 205,000 円/㎡ |
- (R6 年 : 浦安市 379,000 円/㎡、市川市 296,700 円/㎡、
習志野市 191,800 円/㎡)
- ③ 基準地別の価格順位
- | | | |
|-------|------------------|-------------|
| 第 1 位 | 船橋-39 (本町 5 丁目) | 585,000 円/㎡ |
| 第 2 位 | 市川-13 (八幡 1 丁目) | 540,000 円/㎡ |
| 第 3 位 | 市川-27 (市川南 3 丁目) | 498,000 円/㎡ |
- (R6 年 : 「市川-13」 530,000 円/㎡、「市川-10」 485,000 円/㎡、
「市川-27」「浦安-2」 462,000 円/㎡)

(3) 商業地

ア 変動率等

- ① 商業地の県平均変動率は、4.8%と上昇した。
(R6 年 : 5.0%、R5 年 : 3.7%、R4 年 : 2.0%、R3 年 : 0.4%)
- ② 調査対象 51 市区町の平均変動率は、船橋市、流山市、千葉市中央区、鎌ヶ谷市、習志野市、成田市、千葉市稲毛区、市川市、松戸市、袖ヶ浦市、千葉市花見川区、八千代市、柏市、浦安市、千葉市美浜区、一宮町、市原市、千葉市若葉区、佐倉市、千葉市緑区、四街道市、大網白里市、木更津市、我孫子市、東金市、酒々井町、野田市、白井市、印西市、君津市、館山市、香取市、鴨川市、茂原市の 34 市区町で上昇、旭市、八街市、匝瑳市、山武市、栄町、鋸南町の 6 市町で横ばい、その他の 11 市町で下落した。
※富里市は本年選定替えを行ったため、変動率は出ていない。
- ③ 市区町別の平均変動率 (上位)
- | | | |
|-------|--------|------|
| 第 1 位 | 船橋市 | 9.5% |
| 第 2 位 | 流山市 | 8.6% |
| 第 3 位 | 千葉市中央区 | 8.4% |
- (R6 年 : 浦安市 16.5%、市川市 13.2%、船橋市 11.6%)
- 市区町別の平均変動率 (下位)
- | | | |
|-------|------|-------|
| 第 1 位 | 銚子市 | △2.1% |
| 第 2 位 | いすみ市 | △1.9% |
| 第 3 位 | 横芝光町 | △1.4% |
- (R6 年 : いすみ市 △1.8%、銚子市 △1.2%、富津市・勝浦市 △1.1%)

- ④ 継続調査地点134地点のうち103地点で上昇、12地点で横ばい、19地点で下落した。

(R6年：133地点のうち100地点で上昇、14地点で横ばい、19地点で下落)

- ⑤ 基準地別変動率順位（上位）

第1位 船橋5-4（本町4丁目） 16.2%

第2位 柏5-5（若柴） 12.2%

第3位 船橋5-7（本町2丁目） 12.1%

(R6年：「浦安5-2」18.4%、「船橋5-4」17.8%、「船橋5-7」17.7%)

- 基準地別変動率順位（下位）

第1位 銚子5-2（長塚町3丁目） △3.1%

第2位 銚子5-3（明神町2丁目） △2.0%

第3位 いすみ5-1（大原） △1.9%

(R6年：「勝浦5-2」△1.9%、「いすみ5-1」△1.8%、「君津5-2」△1.4%)

イ 価格

- ① 商業地の県平均価格は333,700円/㎡、昨年より24,700円上昇した。

(R6年：309,000円/㎡で、一昨年より24,100円上昇)

- ② 市区町別の平均価格順位

第1位 市川市 1,395,000円/㎡

第2位 浦安市 1,200,000円/㎡

第3位 船橋市 785,000円/㎡

(R6年：市川市1,488,000円/㎡、浦安市1,130,000円/㎡、
船橋市700,900円/㎡)

- ③ 基準地別の価格順位

第1位 中央5-13（富士見2丁目） 2,780,000円/㎡

第2位 市川5-5（八幡2丁目） 2,720,000円/㎡

第3位 船橋5-4（本町4丁目） 2,150,000円/㎡

(R6年：「市川5-5」2,560,000円/㎡、「中央5-13」2,530,000円/㎡、
「船橋5-4」1,850,000円/㎡)

(4) 工業地

ア 変動率等

- ① 工業地の県平均変動率は、8.2%と上昇した。
(R6年：9.9%、R5年：7.1%、R4年：5.1%、R3年：2.5%)
- ② 調査対象25市区町の平均変動率は、習志野市、千葉市美浜区、流山市、松戸市、印西市、千葉市中央区、市原市、袖ヶ浦市、野田市、成田市、浦安市、船橋市、柏市、千葉市花見川区、市川市、横芝光町、木更津市、芝山町、匝瑳市、東金市、多古町、茂原市の22市区町で上昇し、そのほか3市で横ばい、下落した市区町はなかった。
※千葉市緑区は本年、新規基準地を設定したため平均変動率が出ていない。
(千葉市緑区を含めた調査対象：26市区町)
- ③ 基準地別変動率順位(上位)

第1位	習志野9-1(茜浜3丁目)	16.7%
第2位	美浜9-2(新港)	16.4%
第3位	流山9-1(森のロジスティクスパーク2丁目)	15.3%

(R6年：「船橋9-1」28.6%、「市川9-1」28.5%、「習志野9-1」27.1%)
- ④ 継続調査地点33地点のうち30地点で上昇、3地点で横ばい、下落した地点はなかった。
(R6年：30地点のうち26地点で上昇、4地点で横ばい、下落地点なし)

イ 価格

- ① 工業地の県平均価格は97,900円/m²、昨年より7,200円上昇した。
(R6年：90,700円/m²で、一昨年より12,700円上昇)
- ② 基準地別の価格順位

第1位	市川9-2(塩浜1丁目)	375,000円/m ²
第2位	市川9-1(高谷新町)	280,000円/m ²
	船橋9-1(西浦2丁目)	280,000円/m ²
第4位	浦安9-1(鉄鋼通り3丁目)	265,000円/m ²

(R6年：「市川9-2」365,000円/m²、「市川9-1」257,000円/m²、「船橋9-1」256,000円/m²)

(5) 林地

- ① 林地の県平均変動率は△0.7%と下落が継続している。(R6年：△0.7%)
- ② 県の平均価格は、222,900円/10aで、昨年より1,300円上昇した。
(R6年：221,600円/10a、一昨年より1,600円下落)

[調査市町及び地点数]

館山市、勝浦市、市原市、鴨川市、君津市、富津市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、長南町の各1地点・・・計11地点

※長南町は本年選定替を行ったため、変動率は出ていない。